

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
適切な 環境と 支援の 提供	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	5			
	2 清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	5			
	3 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている。	5			
	4 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	3	2		こども達の特性理解に努め、より専門的な支援ができるように、定期的に会議や研修を行っていく。
	5 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている。	4	1		定期的に支援内容を見直し、支援プログラムに合ったものになるように考えていく。
	6 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	5			
	7 個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	5			
	8 作成された個別支援計画は丁寧に支援内容の説明が行われており、個別支援計画に沿った支援が行われている。	5			
	9 日々の活動内容や取り組みなど、固定化しないよう多様性をもった様々な経験ができるように工夫されている。	3	2		日々の活動内容や取り組みについてしっかりと話し合う場を持ち、様々な内容を子ども達が経験できるようにする。
	10 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援が行われている。	5			
業務 改善	11 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	12 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
	13 支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。支援終了後には職員間で打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	5			
ご 家 族 へ の 対 応 に つ い て	14 ご家族との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされ、苦情や要望に対しては、体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応している。	5			
	15 日頃からこどもの姿や様子を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思う。	3	2		毎日の朝礼や打ち合わせの中で、活動についてだけでなく子ども達の健康面、発達面についてももしっかり情報共有していく。
	16 ご家族、学校、放デイなど、関係機関との連携が密に図れているように感じられる。	5			
	17 定期的に、面談やこどもへの関わり方、支援に関するアドバイスや助言など、ご家族への支援が行われている。	5			
	18 家族参加イベントや茶話会の開催等により、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。	3	2		イベントの内容も子ども達にあったもの、ニーズのあるものなど多様な内容となるよう考慮し、企画していく。
	19 定期的におたよりやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	5			
	20 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思う。	5			
非 常 時 等 の 対 応	21 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされている。	5			
	22 業務継続計画（BCP）、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	5			
	23 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	5			
	24 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	5			
満 足 度	25 子ども達の将来を見据えた支援を追求できていると感じられる。	5			
	26 こどもは通所を楽しみにしている。	5			
	27 何かあれば気軽に相談できるスタッフが事業所にいる。	5			

放課後等デイサービスuniversal school CRECIO Jr. 保護者等からの事業所評価の集計結果

		利用児童数： 31名				回収数：15	公表日：2026年3月1日
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・ご要望	ご意見・ご要望への対応
適切な 環境と 支援の 提供	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	15				
	2	清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	15				
	3	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	15				
	4	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている。	15				
	5	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	15				
	6	個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	15				
	7	作成された個別支援計画は丁寧に支援内容の説明が行われており、個別支援計画に沿った支援が行われている。	14	1			
	8	日々の活動内容や取り組みなど、固定化しないよう多様性をもった様々な経験ができるように工夫されている。	15				
ご家族 への 対応に ついて	9	ご家族との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされ、苦情や要望に対しては、体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応している。	15				
	10	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				
	11	日頃からこどもの姿や様子を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思う。	14			1	普段の様子はお子様を通してや、SNS等でお知らせしています。連絡事項がある際には電話等でもお伝えしています。
	12	ご家族、学校、放デイなど、関係機関との連携が蜜に図れているように感じられる。	12	1		2	定期的に情報の共有を行い、お子様に合った支援ができるように連携しています。
	13	定期的に、面談やこどもへの関わり方、支援に関するアドバイスや助言など、ご家族への支援が行われている。	14	1			
	14	家族参加イベントや茶話会の開催等により、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。	11	1	1	2	保護者の方やきょうだいの方の交流の機会が持てるようなイベントを企画、開催できるよう努めています。
	15	定期的におたよりやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	15				
16	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思う。	15					
非常時 等の 対応	17	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、発生を想定した訓練が実施されている。	9			6	各マニュアルを策定しており、どなたでも閲覧できるようにしています。また訓練も定期的の実施しています。
	18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていると思う。	10			5	避難訓練の様子や内容を保護者の方にも知っていただけるように、SNSやおたよりなどで発信していきます。
	19	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思う。	12			3	こどもたちの安全の確保に努め、適切な指導を行っていきます。計画についても周知を行ってまいります。
	20	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思う。	12			3	事故発生時には保護者の方に迅速に連絡をとり、しっかりと状況の説明を行っていきます。
満足 度	21	子どもの将来を見据えた支援を追求できていると感じられる。	14	1			
	22	こどもは通所を楽しみにしている。	14	1			
	23	こどもを安心して預けられている。	15				
	24	何かあれば気軽に相談できるスタッフが事業所にいる。	15				
	25	事業所の支援に満足している。	15				

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス universal school CRECIO Jr. 寝屋川公園校		
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		2026年2月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2026年1月26日		2026年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体験型授業、実践課外授業を取り入れ、「自立」に向けた学習ができる。	「生活力」「コミュニケーション力」「社会性」を主軸として、その時に必要なことを学べるよう、実践して身につけられるような授業を多く取り入れている。	引き続き、様々な体験や経験を通して「自立」に向けた力を身につけられるように内容を充実させていく。
2	中学生、高校生が対象のため、年齢に合った活動やコミュニティーが楽しめる。	中学生、高校生ならではの年齢に合った活動、過ごし方ができるように授業やイベントなどを企画している。	同年代が集まることで想いを共有できたり、繋がりが感じられたりできるように居心地のいい場所、居場所作りを目指していく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練やマニュアルについてなど、非常時の対応についての周知ができていない。	各マニュアルについての周知ができていない。避難訓練の実施日や内容が事前に伝えられておらず、参加できる利用者が限られてしまう。また、どんなことをしているのか伝わっていない。	おたよりやSNSなどを使用して、事前に避難訓練のお知らせを行っていく。避難訓練計画や安全マニュアルなども公開し、その旨をしっかりと周知していく。
2	保護者、きょうだい同士の関わりの場が少ない。	利用児童のみ参加のイベントがほとんどで、保護者の方やきょうだいの方に参加してもらいイベントが少なく、交流の場が持っていない。	親子イベントや茶話会など、利用児童の家族も参加できるようなイベントを企画、実施していく。
3			